



関東財務局 宇都宮財務事務所長 山下 実

開会挨拶

本日は業務ご多忙の中、当事務所主催の「県内信用金庫・信用組合の渉外担当者等による意見交換会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

栃木県内では、コロナ禍の3年間を乗り越えて、社会経済活動の正常化が進んでおりますが、一方で、県内の中小企業・小規模事業者につきましては、物価高騰や人手不足の影響などにより、依然として厳しい経営環境に置かれています。

その上で、足許ではゼロゼロ融資の返済が本格的に進んでいるという中であって、金融機関等の皆様には、事業者の実情に応じた経営改善支援や事業再生支援に早め早めに取り組んでいただくことが重要であると考えております。

財務局・財務事務所としても、引き続き様々な支援機関と連携して金融機関の後押しをして参りたいと考えており、この数年、当事務所が実施してきた意見交換会では、事業者支援を行っていくための効率的な渉外活動や、具体的なケースを用いたより実践的な支援について意見交換を行うなど、継続して事業者支援をテーマに取り上げてきたところです。

今回は、3月29日に新たに業種が追加された「業種別支援の着眼点」をテーマとして、前半の講演では、追加業種について解説いただき、後半のグループワークでは、経営者のインタビュー動画を活用して、課題の抽出や支援の方法について、意見を出し合ってくださいと聞いております。

この勉強会で得た知識、知見が明日からの事業者支援の取組みへの有益な糧となるよう祈念し、簡単ではございますが私からの挨拶とさせていただきます。